

岩倉

みんなのふくし



社会福祉協議会会費を財源とした支会活動

この広報紙は
共同募金の
配分金によって
発行しています。

社会福祉協議会は通称で「社協」と呼ばれ、地域福祉を推進することを目的とした社会福祉法人です。社会福祉法に基づき設置されています。社協の事業は、地域の皆さんや社会福祉関係者、福祉団体関係者、ボランティアなど多くの皆さんと協議しながら実施しています。

<岩倉市社協の基本理念>

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり

岩倉市社協の組織

事務局

職員数43人

事務局長

法人運営部門

地域福祉活動推進部門

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

ふれあいセンター指定管理

岩倉市地域包括支援センター

岩倉東部地域包括支援センター

理事会

(執行機関)

理事6～12人

会長1人

副会長3人

理事2～8人

監事2人

評議員会

(議決機関)

評議員18～25人

岩倉市社会福祉協議会の令和6年度の事業計画、予算概要をお知らせします。

事業計画

基本計画（抜粋）

「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の基本理念を念頭に、支会活動事業やボランティアセンター活動事業を軸とした地域福祉事業をさらに推進していきます。

全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉事業の推進を図るとともに岩倉市と共同事務局として第3期岩倉市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の推進に努めます。

近年、自然災害が日本各地で発生しており、近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震による大規模災害への備えや対応の整備が急務になっています。災害時の事業継続計画を実行性のあるものとすべく、教育・訓練を実施し、事業が継続可能と

なるよう体制づくりに努めます。災害後には、復興支援となる災害ボランティアセンターについても平時から岩倉市をはじめとする関連機関と連携を図り、対応できるよう努めます。

また、介護の人材不足は深刻で、本会も同様であります。今後の介護事業の在り方について検討してまいります。併せて、経営管理の強化、各種事業の適切な運営、働き方改革の対応や財務規律の強化などに取り組みとともに、地域に信頼される社会福祉法人の運営推進に努めます。

重点目標（要約）

1 信頼される法人経営

経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組の実施に対し、地域に信頼される法人経営。

事業継続計画を基に教育・訓練を実施し、災害時において事業継続が可能となる体制づくり。介護事業での利用者の人権、虐待防止、感染症の発生やまん延防止等の必要な体制整備。

収入予算額

| 項目 | 千円 |
|----------|---------|
| 会費収入 | 3,330 |
| 補助金収入 | 38,464 |
| 受託金収入 | 80,490 |
| 介護保険事業収入 | 31,007 |
| 繰入金収入 | 6,295 |
| その他 | 15,278 |
| 合計 | 174,864 |

2 共に暮らす地域づくり
ボランティアセンターにおけるボランティアの育成のための講座や地域福祉講座を開催。地域福祉にかかわるボランティアの育成や幅広い世代のボランティア活動の参加促進。支会活動をさらに推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを支援。行政との連携で第3期岩倉市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の推進。地域共生社会の実現に向け、地域包括支援センター事業、生活支援コーディネーター事業とも一体的に地域課題に取り組み体制づくり。

3 介護事業継続の検討
介護事業における人手不足が

主な事業内容と支出予算額

| 事業名 | 主な内容 | 千円 |
|---------------------|--|---------|
| 1 法人運営事業 | 理事会・評議員会の適切な運営 会員の加入促進 年4回の広報紙の発行 | 36,110 |
| 2 地域福祉活動推進事業 | 支会活動推進委員会 7つの地域別の支会活動 福祉機器の貸し出し | 1,454 |
| 3 地域福祉計画の推進 | 地域つながりづくり会議 いわくらあんしんねっと | 300 |
| 4 ボランティアセンター | ボランティアセンター運営委員会 ボランティア養成講座 小中学校での福祉教育事業 | 1,606 |
| 5 いきいき介護サポーター事業 | 高齢者施設での介護サポーター活動 | 559 |
| 6 共同募金の活用 | 障害児者対象のスポーツフェスティバル、 夢コンサート 各種福祉団体への助成 子ども食堂への助成 | 6,184 |
| 7 資金貸付事業 | 生活福祉資金貸付 | 7,426 |
| 8 福祉サービス利用援助事業 | 福祉サービスの利用支援 | 2,011 |
| 9 訪問介護事業 | ひとり親家庭等、高齢者や障害者への訪問 介護 | 8,153 |
| 10 障害福祉サービス事業 | | 5,503 |
| 11 居宅介護支援事業 | 介護に関するサービス計画作成(ケアマネ ジャー業務) | 14,523 |
| 12 生活支援コーディネーター事業 | 生活支援・介護予防サービスの体制整備 | 8,354 |
| 13 基金運営事業 | 社会福祉基金、介護運用積立基金の運営 | 4,005 |
| 14 岩倉市ふれあいセンター事業 | センターの管理運営 | 8,678 |
| 15 岩倉市地域包括支援センター事業 | 高齢者に関する生活相談 高齢者の権利擁護 | 42,215 |
| 16 岩倉東部地域包括支援センター事業 | ケアマネジャーの助言・指導 | 27,783 |
| 合計 | | 174,864 |

深刻化する中で、本会の訪問介護事業、居宅介護支援事業とも人員減少しており、今後の事業の在り方について検討。

予算

歳入で、約4割を受託金が占

めています。岩倉市の受託事業執行が大きな要因です。その他の事業は表をご覧ください。

社会福祉協議会会員募集にご協力をお願いします！

～福祉のまちづくりに参加しませんか？～

会員制度は、「お互いに助け合う仕組み」です。「地域住民“みんな”で地域の課題を共有し、活動を企画し、お金を出し合い、解決に向けて実践すること」によって、安心して暮らすことができるまちづくりにつながっていきます。

「会員に加入する＝福祉のまちづくりに参加している」ことになります。

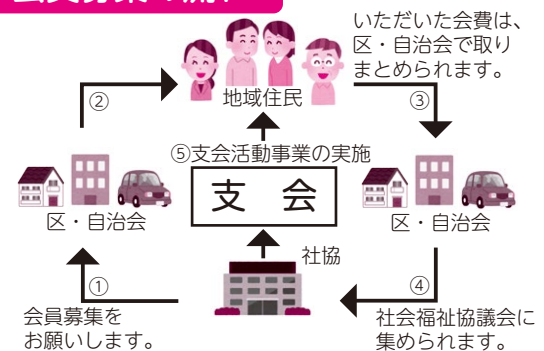
社会福祉協議会の活動の一部は、皆様にご協力いただいた会費等によって支えられています。毎年、7月に会員募集を行います。趣旨をご理解いただき、会員の加入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

会員の区分及び金額 (年間1口当たり)

- 一般会員（世帯） 500 円
- 特別会員（施設） 1,000 円
- 法人会員（事業所） 3,000 円

※会費は、各区の役員に取りまとめをお願いしていますが、社会福祉協議会窓口でも随時受付をしています。

会員募集の流れ



会費の主な使い道

皆様からいただいた会費は主に支会活動に活用しています。

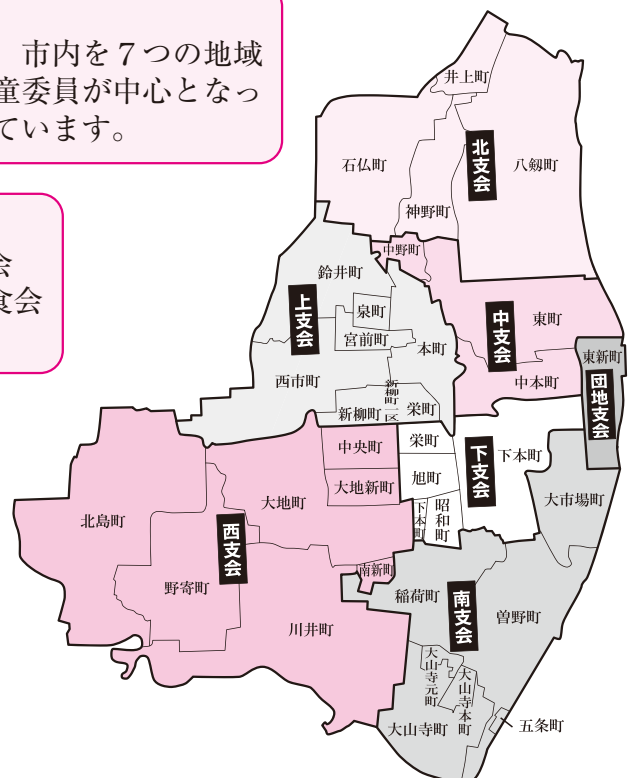
<支会とは>

市内各地域の実情に沿った福祉活動を推進するため、市内を7つの地域に区分した組織です。区・自治会役員や民生委員・児童委員が中心となって運営し、住民自らが主体となる福祉活動を展開しています。

<支会活動の一例>

- ・多世代交流のための子どもから高齢者までの交流会
- ・高齢者の閉じこもり予防のためのサロン活動や昼食会
- ・子どもを地域で見守るための活動

| | |
|------|--|
| 北支会 | 八剱町区 井上町区 神野町区 石仏町区 |
| 上支会 | 本町上市場区 本町北口区 本町門前区 西市町区 新柳町区 新柳町1区 鈴井町区 泉町区 |
| 中支会 | 中本町区 東町区 中野町区 |
| 下支会 | 下本町区 |
| 団地支会 | 東新町1区 東新町2区 東新町3区 |
| 西支会 | 北島町区 野寄町区 大地町区 中央町区 川井町区 南新町区 |
| 南支会 | 大市場町区 大山寺町区 稲荷町区 曾野町区 五条町区 |



ボランティアセンター事業計画

岩倉市社会福祉協議会内に設置しているボランティアセンターの令和6年度の事業計画をお知らせします。

近年社会構造の変化や人々の暮らしの変化により、地域における支え合いの基盤が弱まり、地域のつながりが希薄化しています。さらに、昨今様々な分野の地域課題が絡み合って複雑化したり、個人や世帯で複数の課題を抱えたり、複合的な支援を必要とするといった状況がみられます。

岩倉市社会福祉協議会では、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉事業の推進を図るとともに、岩倉市と共同事務局として第3期岩倉市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の推進に努めていきます。

ボランティアセンターにおいては、「誰もが住み慣れた地域でお互いに支え合い、自分らしく暮らすことのできる地域づくりを目指して、地域の特性に応じたボランティア活動の育成と活動の推進を図ること」を目標に事業を推進していきます。地域福祉への参画の機会を広げることで、住民のボランティアに関する理解と関心を深め、より多くの住民に福祉活動へ参加してもらえる仕組みづくりに取り組みます。

さらに、毎年のように自然災害が日本各地で発生しており、近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震による大規模災害への備えや対応の整備が急務になっている中、災害後の復興支援となる災害ボランティアセンターについても平時から関係機関と連携を図り、対応できるよう体制づくりに努めます。

重点目標

・ボランティア活動への参加を促進する仕組みを整えます。

住民が地域課題や福祉に意識を向けることができるよう、地域福祉講座等を開講し、住民への理解を促しボランティア活動への間口を広げていきます。

・地域住民の災害に対する理解を深め、災害に強い体制づくりを目指します。

災害に対して正しい知識を学び、災害ボランティアセンターの必要性についての理解を促すため、災害ボランティア講座の開講や災害ボランティアセンターの設置・運営の訓練を実施します。また災害ボランティアセンターの円滑な運営のためのICT活用法についても検討していきます。

| 事業内容 | |
|--------------------------|------------------------------------|
| (1)調査研究 | ①地域に必要なとされるボランティア活動の調査研究 |
| | ②登録団体の活動状況の調査・分析 |
| (2)情報提供・啓発 | ①広報「岩倉みんなのふくし」掲載 |
| | ②社協ホームページ掲載 |
| | ③いわくら福祉フェスティバル 11月9日(土)・10日(日) |
| (3)登録・斡旋 | ①センター登録制度 |
| | ②ボランティアの斡旋 |
| (4)人材育成・活動支援 | ①ボランティアの養成講座や講演会の実施 |
| | ②災害ボランティア活動の充実 |
| | ③ボランティア保険の活用促進 |
| | ④登録団体への活動支援 |
| (5)相談・連絡調整 | 関係機関とボランティア活動の推進に関する連絡調整 |
| (6)資材の整備・貸与 | 資材の整備及び貸与 |
| (7)研修・講座の開催 | 研修及び講座の開催 |
| (8)学びを通じた福祉の推進 | ①福祉実践教室の科目提案、講師調整 |
| | ②福祉教育に関する取組み支援 |
| | ③青少年福祉ボランティア体験学習 |
| | ④福祉体験作文コンクール |
| (9)その他のボランティア活動の促進に必要な事業 | ①スポーツフェスティバル 6月1日(土) |
| | ②夢コンサート 12月8日(日) |
| | ③西尾張ブロックボランティアフェスティバル 令和7年2月15日(土) |

令和6年度
事業計画

少子高齢化社会の中で、地域のつながりが薄くなり、孤立化が進んでいると言われています。そうした中で、民生委員・児童委員の役割は、地域住民の一員として様々な課題を抱える人たちの身近な相談相手、見守り役として活動することです。地域住民からの相談を受けて

民生委員・児童委員の 112

ひろば

編集：岩倉市民生委員児童委員協議会広報委員会



行政や専門機関につなげ、その後は見守りを継続していきます。民生委員・児童委員同士で絆を強め、お互いに学習を深めて民生委員児童委員協議会（民児協）活動の強化を図ります。令和四年三月にまとめられた、「全国民生委員児童委員連合会」（全民児連）の『地域共生社会の実現に向けた民生委員・児童委員、民児協としての行動方針』にしたがって活動を行っていきます。

「研修企画委員会」「災害時支援検討委員会」「広報委員会」「赤ちゃん訪問運営委員会」「交流会実行委員会」「主任児童委員会」の委員会活動により、民児協全体の活動を深めていきます。今年度は、特に「障がい者の問題」について学習していきます。六月頃に施設見学を予定します。

研修会概要

2024. 2. 22

岩倉市の救急隊の活動について

岩倉市消防本部には、現在、3台の救急車が配備されている。そのうち3号車には、五条川と桜並木をイメージした青とピンクのラインが描かれ、後方のドアには赤の電光掲示板が設置され「ありがとう」「搬送中」などのメッセージや注意喚起を促す文字が点灯するようになっている。

119番通報は小牧市にある尾張中北消防指令センターに入電。その後、担当市町の消防署に出動要請がなされる。患者の重症度・緊急度により、救急車だけでなく消防車と救急車が連携して出動（PA連携）することもある。救急車は出動した以上、必要な処置を行う。

ここで救急車を呼ぶ私たちが考えておかなければいけないことがある。人生の最期をどう迎えたかを、本人・家族・かかりつけ医で、前から話し合っておく人生会議が大切だという事だ。人生の最終段階で延命治療を望まないと本人・家族・かかりつけ医で決まっていたが、慌てて救急車を呼んでしまった場合には、本人とかかりつけ医のサインがある「蘇生中止書面」があり、かかりつけ

医がその場に来ていただける時には、救命処置を行わずに救急車は帰署するそうだ。

能登半島地震への支援活動について

1月1日16時10分に発生した能登半島地震。岩倉市消防本部は、緊急消防援助隊愛知県大隊1次隊として出動、十数時間かけて現地に到着、救助活動にあたった。講師の救急救命士さんは、4次隊の救急隊として出動し、輪島市門前分署を拠点に、寸断された道路を自衛隊車両のサポートを受けながら現地の救急隊員と共に活動。食事は後方支援隊が準備してくれていたが、いつでも出動できるように、食事や睡眠も救急車の中ですべて済ませたそうだ。隊は4日間活動し、次の隊の到着後、交代、帰還していたとのことで、愛知県大隊は11次隊まで出動しており、岩倉市消防本部はそのうち8回出動したそうだ。

「日常って幸せ。もしも岩倉に災害が発生したら、より早く皆さんの日常を取り戻せるように今回の経験を生かしていきたい。」と、講師の救急救命士さんは語っておられた。

職員募集

1 地域包括支援センター正規職員

- 募集人員 1人
- 応募資格 保健師または高齢者支援経験のある正看護師
- 職務内容 高齢者等からの相談受付や介護予防ケアマネジメント等
- 勤務時間 午前8時30分～午後5時15分（休憩60分）
- 賃 金 令和6年4月の初任給の例：
大学卒 214,544円
※経験による調整有り
- 問合せ先 岩倉市地域包括支援センター
0587-38-0303

2 地域包括支援センター非常勤職員

- 募集人員 1人
- 応募資格 社会福祉士、保健師、正・准看護師、介護支援専門員のいずれかの資格を取得している人
- 職務内容 要支援認定者等のケアプラン作成及び管理業務及び担当業務に付随する事務
- 勤務時間 午前9時～午後4時（休憩60分）で平日の週3日
- 賃 金 1,271円/1時間
- 問合せ先 岩倉東部地域包括支援センター
0587-96-6553

3 ケアマネジャー（嘱託員）

- 募集人員 1人
- 応募資格 介護支援専門員
- 勤務時間 週32時間
- 賃 金 211,400円から
※経験により優遇及び諸手当有り。
- 問合せ先 岩倉市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 0587-38-0085



4 ホームヘルパー（非常勤職員）

- 募集人員 3人
- 応募資格 初任者研修（旧ヘルパー2級）介護福祉士
- 勤務日 週1日から勤務可能
- 勤務時間 相談に応じます。1日1時間から等、希望に応じて調整できます。
- 賃 金 身体介護1,271円/1時間
生活援助1,171円/1時間
※その他諸手当有り。
- 問合せ先 岩倉市社会福祉協議会訪問介護事業所 0587-38-0085

※1～3の職種の休日は、土日祝日、12月29日～1月3日です。その他、有給休暇、保険各種、退職金制度については職種によって異なります。詳細はホームページでご確認ください。

善意のともしび

令和6年1月16日～4月5日

ご寄附をいただき、ありがとうございました。

「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のために大切に活用させていただきます。（敬称略）

| | | | |
|------------|----------|--------|----------|
| 岩倉市更生保護女性会 | 10,000 円 | 匿名 | 2,000 円 |
| 太一会 | 6,640 円 | 恩師を偲ぶ会 | 22,840 円 |

Pick Up Volunteer(ピックアップボランティア)

～「岩倉市音訳の会 あめんぼ」さんにインタビュー～

どんな活動をしていますか？

目から情報を得られない人のために、耳から「音」で情報を伝える音訳活動をしています。岩倉市広報紙「広報いわくら」と岩倉市社会福祉協議会広報紙「岩倉みんなのふくし」の音声版、小説などの録音図書を製作しています。

いつ・どこで活動していますか？

月2回、岩倉市図書館で音訳の勉強会をしています。
録音作業などは主に自宅で行っています。

ボランティアをされていてよかったことはありますか？

音声版を聞いていただいた人から、「広報を聞いてます」と反応があったとき、嬉しさを感じます。

市民の皆さんへメッセージ

広報紙やハザードマップなどたくさん音訳をしているので、ぜひ聞いてください！音訳版(CD)は市役所や社会福祉協議会にあるほか、岩倉市役所ホームページから聞くことができます。

ボランティアに関することは岩倉市社会福祉協議会ボランティアセンターへご相談ください！



音訳って？

目の不自由な方のために
文字の情報を音声情報
にして伝えることです

ボランティア養成講座

- と き 令和6年9月11日～
令和7年1月29日
(1月1日は除く)毎週水曜日
午後1時30分～3時30分

※受講は無料ですが、テキスト代が必要です

- 申 込 先 岩倉市社会福祉協議会
〒482-0036 岩倉市西市町無量寺2番地1(岩倉市ふれあいセンター2階)
☎0587-37-3135 Fax:0587-38-0039 メール:i-syakyo@smile.ocn.ne.jp

※メールを利用される場合は件名を「講座申込」として、氏名と連絡先を明記してください。

音訳ボランティア養成講座(全20回)

- と ころ 岩倉市ふれあいセンター
- 定 員 10人
- テキスト代 838円(税込)
- 申込期限 8月30日(金)

編集委員 真野美知子 伊藤文 小林喜多男

この広報紙は、岩倉市音訳の会あめんぼの協力を得て音声版(CD)を用意しています。利用されたいときは岩倉市社会福祉協議会までお申し出ください。

社会福祉法人岩倉市社会福祉協議会
岩倉市西市町無量寺2番地1岩倉市ふれあいセンター内
TEL (0587) 37-3135
ホームページ <https://www.iwakura-syakyo.jp>
メール i-syakyo@smile.ocn.ne.jp

